

# メタセコイア (土屋中学校の樹)

< 学校教育目標 >

～ 夢に向かって ～

第1号

令和8年4月8日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

## 『 挑 戦 』

校 長 小 熊 誠

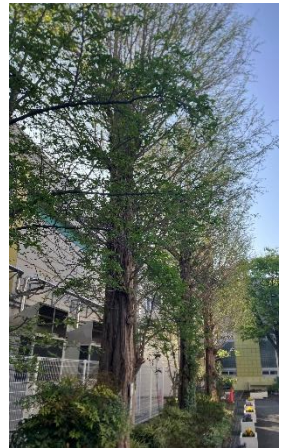
正門の両脇の桜並木から、土屋のシンボルであり、「望みの叶う樹」である三本のメタセコイアに繋がる「土屋ロード」。凜と真つすぐに立つシンボルは、これからの皆の望みをきっと叶えてくれるはずです。そして、今日の「土屋ロード」は、花びらのシャワーと絨毯で桜色に彩られ、登校する皆に爽やかな気持ちと元気を与えてくれています。まるで、令和8年度の土屋中のスタートを祝ってくれているかのようです。

本年度土屋中学校は、本日165名の新入生を迎え、2年生155名、年生171名、生徒数491名。学級数は、全17学級(特別支援学級3学級含む)。教職員は、伊藤教頭先生、那須主幹教諭を始め11名の先生方が去られ、阿部教頭先生、中村主幹教諭を始め13名の先生方をお迎えし、本校校長2年目を迎える小熊を含め、52名となります。令和8年度、土屋中総勢543名での幕開けとなります。

さて、今日からいよいよ令和8年度が本格的に始まります。私たちの使命は、私たちの宝である生徒たちを、守り、磨き、輝かせ、共に未来を創っていくことです。そこで、本年度は、別紙のグランドデザインでお示したように、学校の主役である生徒たちが、さらに主役らしく堂々と、思いっきり輝ける学校への進化を目指します。そのために生徒たちが土屋のことを全て自分事として捉え、土屋がさらに心安らぐ居心地の良い場所となり、もっと大好きになるよう「生徒の生徒による 生徒のための学校」、「生徒が毎日希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校できる学校」の実現に向け、教職員一同心を一つに尽力して参ります。そこで、本年度特に力を入れていく重点項目が3つあります。1つ目は、「SNS十三ヵ条(仮称)」の制定です。「心染色”こんぱす」を中心に生徒たちが、自分でアンケート等の調査をし、話し合い重ねています。SNSを使用する時間・メール等を送らない時間・家族で話し合いをするメンテナンスデー(仮称)の設置等も含めています。保護者・地域の皆様の御理解と御協力がどうしても必要です。どうぞよろしくお願ひします。2つ目は、「米創り」です。地域の皆様の温かい御支援と御協力により、水田を約3反、お借りすることができました。約1トンのお米が収穫できます。今年の新米からは、自分たちで作ったお米を自分たちで食べます。種まきから、田植え、稲刈り、そして給食のメニュー作成、お米の販売経路や、値段について等、全学年で総合学習の一貫として取り組みます。3つ目は、1年生の数学で習熟度学習を始めます。土屋の新たな挑戦の始まりです。生徒たちが、どんな輝きを放っていくのか本当に楽しみです。その輝きをさらに「進化」させ、「メガ進化」させるためには、保護者・地域の皆様の御協力がどうしても必要です。どうぞ皆様、より一層の御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくお願ひいたします。

令和8年度、土屋の「メガ進化」を楽しみにしていきましょう。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校



教育基本法第1条(教育の目的) 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

さいたま市教育委員会経営方針 すべての子どもの多様で豊かな可能性を開花させるために

— 技術と人間性が調和する未来志向の教育の推進 “Technology & Heart : Learning for the Future” —

教育理念

私たちの仕事は、日本のそして世界の未来を担う子どもたちとともに未来を創ることであると考えている。そこで、一番大切なことは、未来の担い手となる子どもたちの命を守ることであり、その命を輝かせることである。未来の宝である、子どもたちを、学校・家庭・地域でしっかりと協力して多方面から磨くことにより、子どもたちをより輝かせる教育を目指す。

学校経営方針

土屋中学校を社会の縮図とし、土屋でのすべてのことを自分ごととして捉え、今の土屋が前に進み、皆が土屋を大好きになり、楽しく幸せになるためには、自分にとって、仲間にとって、学校にとって、家庭にとって、地域にとって、何が必要で、何ができるのかを考え、実行していく「生徒の、生徒による、生徒のための学校」を目指す。

地域の声

- ・地域の学校として、皆が居心地のいい、皆に愛される学校
- ・地域の主権者として、地域の進化に尽力できる生徒

目指す学校像

「生徒には夢を、保護者には感動を、教職員には技を育む学校」

学校教育目標  
「夢に向かって」  
希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

目指す生徒像

「希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する生徒」

目指す教師像

「学校の主役である生徒たちを絶対の守護神として 守る教師」

本年度の重点 自分の旗を高く掲げよ！  
生徒を、守り、磨き、輝かせます

- 輝** 生徒の主体的な取組 ～ 学校の主権者から地域の主権者へ～  
「心染色 “こんぱす”」を学校のど真ん中においた、生徒の 生徒による 生徒のための学校 の実現  
※土屋中13カ条の制定、周知、徹底
- 磨** 学びの向上に関する取組  
○基礎学力の定着(数学の習熟度学習の展開・スタディサプリによる朝学習の定着・自主学習時間の確保)○「話し合い活動」の定着(定期的な学級活動の実施)○全教科で要請訪問等の実施による授業改善○有識者を招聘しての学力向上のための実践的研修の実施○新しい受験制度(特に面接)に向けての実践的な演習の実施
- 守** 子どもの発達や心のサポートに関する取組  
○「土屋中心得」の徹底○「心染色 “こんぱす”」の進化○「おはようメーター」の徹底○心を耕す教育(道徳)の推進○心の教育(メディアリテラシー)の育成○土屋独自の「Sola るーむ」運営の確立○土屋中いじめ防止基本方針の徹底と改定○SNSの家庭での約束の徹底○小学校との連携強化
- 磨** 地域とともにある学校づくりの取組  
○土屋独自の総合学習の始動(お米創りから販売へ)○学校に足が運びやすい雰囲気創り○学校運営協議会の推進○西区大会・ふれあいコンサート・バザー等の推進○近隣小中高校・自治会・公民館・農業・商業・工業との連携強化○防災訓練等の連携強化○土屋独自の部活動地域展開の研究
- 守** 教育環境の整備に関する取組  
○Wi-Fi環境の完全整備 ○一人一台のタブレット端末完全配置による「教育の質」の向上○教室環境の整備○清掃活動の充実○土屋独自の教員の働き改革の研究(ワークライフハーモニーの推進)
- 磨** 教職員のキャリア形成に関する取組  
○一人1回以上の公開授業と3回以上の相互見学の実施○有識者(各授業・評価・生徒指導・教育相談・特別活動・道徳・SNS・ASUKAモデル・新しい受験制度等)を招聘しての実践的研修の実施○各種研修会(希望研修等の推進)への積極的な参加

